

第17章 福島県自然の家

第1節 沿革及び所在地

1 沿革

昭和47年県内初の県立少年自然の家として、また、東北でも3番目の宿泊研修用の先導的施設として「福島県郡山少年自然の家」を開設。

昭和50年海浜型の青少年社会教育施設として「福島県海浜青年の家」(以下「青年の家」という。)を開設。同年発足した「財団法人福島県海浜青年の家」が管理運営を行うこととなる。

昭和56年県立少年自然の家2施設目となる「福島県会津少年自然の家」を開設。

平成8年「福島県いわき海浜自然の家」を開設。これに伴い、「青年の家」の名称を「福島県相馬海浜自然の家」に改める。運営財団の名称を「財団法人福島県海浜自然の家」に変更し、海浜型2施設の管理運営を行うこととなる。

平成10年福島県教育庁の直営であった「福島県郡山少年自然の家」及び「福島県会津少年自然の家」の名称を「福島県郡山自然の家」及び「福島県会津自然の家」と改める。これにより財団の名称を「財団法人福島県自然の家」に変更し、県内4施設の管理運営を行うこととなる。

平成18年度から指定管理者制度を導入し、平成20年度までの3年間「財団法人福島県自然の家」が指定管理者となり4施設の管理運営を行うこととなる。

指定管理者であった財団が平成20年度末をもって解散したため、平成21年度から4施設とも県の直営による管理運営となる。

2 所在地

(1) 福島県郡山自然の家

福島県郡山市逢瀬町多田野字中丸山46
〒963-0213 TEL 024-957-2111
FAX 024-957-2112

URL <http://www.koriyama-nc.fks.ed.jp/>

(2) 福島県会津自然の家

福島県河沼郡会津坂下町大字八日沢字西東山4495の1
〒969-6504 TEL 0242-83-2480
FAX 0242-83-2481

URL <http://www.aizu-nc.fks.ed.jp/>

(3) 福島県相馬海浜自然の家

福島県相馬市磯部字大洲38の3
〒979-2501 TEL 0244-33-5224
FAX 0244-33-5225

URL <http://www.souma-nc.fks.ed.jp/>

(4) 福島県いわき海浜自然の家

福島県いわき市久之浜町田之網字向山53
〒979-0335 TEL 0246-32-7700
FAX 0246-32-7730

URL <http://www.iwaki-nc.fks.ed.jp/>

第2節 教育目標及び基本的視点

1 教育目標

恵まれた自然環境の中で、野外学習や集団宿泊活動など様々な活動を通して主体的に対応できる人々の育成を目指す生涯学習の推進のため、次の目標を設定する。

- (1) 自然の恩恵にふれ、自然に親しむ心や敬虔の念を育てる。
- (2) 集団宿泊活動を通して規律・協同・友愛及び奉仕の精神を養う。
- (3) 自然体験活動を通して自ら実践し、創造する態度を育てる。

2 基本的視点

豊かな自然体験を楽しめる施設として、その機能を十分に発揮するために、施設・設備の整備や運営方法の確立・改善に努め、利用者が充実した活動を展開できるよう、次の基本的視点に基づきそれぞれの施設の運営にあたる。

- (1) 所員の英知と創意を結集し、施設の充実・整備を図り活気と魅力ある施設の運営に努める。
- (2) 利用者の多様なニーズや利用目的に応じた柔軟な運営を行うよう努める。
- (3) 立地条件を生かした特色ある企画事業を展開するとともに、学校や地域に生きる活動種目やその指導方法の研究開発に努める。
- (4) 民間の指導者の協力や高校生・大学生等のボランティアの受け入れを得るように努める。
- (5) 現代的課題の解決に対応する事業を推進し、その情報の発信に努める。

第3節 各施設の利用者数

(1) 福島県郡山自然の家

平成19年度 35,140人
平成20年度 39,488人
平成21年度 31,391人
平成22年度 28,461人

(2) 福島県会津自然の家

平成19年度 43,639人
平成20年度 46,260人
平成21年度 44,107人
平成22年度 41,063人

(3) 福島県相馬海浜自然の家

平成19年度 33,422人
平成20年度 38,687人
平成21年度 38,077人
平成22年度 34,294人

(4) 福島県いわき海浜自然の家

平成19年度 81,829人
平成20年度 76,309人
平成21年度 69,605人
平成22年度 66,611人

平成22年度自然の家利用統計						
		平成22年度			延べ人数推移	
		団体数	利用人数	① 延べ人数	19年度	20年度
4月	郡山	29	1,020	1,514	2,176	2,664
	会津	19	1,622	2,484	2,228	2,372
	相馬	35	1,774	3,398	2,539	2,984
	いわき	22	1,772	2,976	3,188	2,543
	計	105	6,188	10,372	10,131	10,563
5月	郡山	34	1,187	1,824	2,063	1,928
	会津	44	1,975	3,001	4,498	4,574
	相馬	31	2,169	3,498	3,183	2,503
	いわき	43	2,989	6,668	7,718	9,158
	計	152	8,320	14,991	17,462	18,163
6月	郡山	43	2,210	3,947	4,907	5,230
	会津	64	2,878	4,661	5,507	5,496
	相馬	45	1,981	4,124	4,409	3,429
	いわき	75	4,575	12,284	12,479	12,156
	計	227	11,644	25,016	27,302	26,311
7月	郡山	60	3,000	4,798	5,055	5,314
	会津	69	3,519	6,381	6,096	8,056
	相馬	74	3,670	6,299	4,013	7,368
	いわき	100	5,159	11,575	13,923	13,520
	計	303	15,348	29,053	29,087	34,258
8月	郡山	38	1,455	3,053	4,900	4,320
	会津	47	2,170	5,204	4,638	5,094
	相馬	74	2,123	4,495	4,599	4,996
	いわき	66	2,523	5,930	9,297	8,098
	計	225	8,271	18,682	23,434	22,508
9月	郡山	44	2,673	4,442	5,380	6,822
	会津	56	2,632	4,163	5,135	5,785
	相馬	73	2,118	4,015	3,649	5,088
	いわき	95	4,939	11,560	13,913	11,703
	計	268	12,362	24,180	28,077	29,398
10月	郡山	55	2,990	4,677	4,895	6,247
	会津	60	3,725	4,577	5,098	5,166
	相馬	44	2,517	3,364	3,280	4,490
	いわき	54	4,262	9,190	9,414	9,192
	計	213	13,494	21,808	22,687	25,095
11月	郡山	34	903	1,199	966	1,680
	会津	30	876	996	1,484	1,850
	相馬	33	1,045	1,272	1,200	1,831
	いわき	24	1,018	2,038	3,804	2,809
	計	121	3,842	5,505	7,454	8,170
12月	郡山	28	680	982	1,041	1,446
	会津	25	504	746	900	898
	相馬	21	775	1,134	814	1,294
	いわき	15	781	1,349	1,518	1,594
	計	89	2,740	4,211	4,273	5,232
1月	郡山	33	434	575	886	634
	会津	47	2,286	3,583	2,995	3,419
	相馬	19	809	1,041	1,128	939
	いわき	19	860	1,243	1,484	1,553
	計	118	4,389	6,442	6,493	6,545
2月	郡山	42	824	1,360	1,776	1,715
	会津	53	2,358	4,002	3,663	2,637
	相馬	20	625	1,089	1,939	1,465
	いわき	23	963	1,310	1,815	2,176
	計	138	4,770	7,761	9,193	7,993
3月	郡山	13	85	90	1,095	1,488
	会津	5	537	1,265	1,397	913
	相馬	8	396	565	2,669	2,300
	いわき	11	443	488	3,276	1,807
	計	37	1,461	2,408	8,437	6,508
累計	郡山	453	17,461	28,461	35,140	39,488
	会津	519	25,082	41,063	43,639	46,260
	相馬	477	20,002	34,294	33,422	38,687
	いわき	547	30,284	66,611	81,829	76,309
	合計	1,996	92,829	170,429	194,030	200,744

福島県相馬海浜自然の家

第1節 概要

福島県相馬海浜自然の家は、昭和50年4月に「福島県海浜青年の家」として開所し、その後、平成8年4月から「福島県相馬海浜自然の家」に名称を変更して今日に至っている。

管理運営は、開所当初から、福島県教育委員会より委託を受けた財団法人福島県海浜青年の家が行ってきた。当該財団法人は、平成8年4月に名称を「財団法人福島県海浜自然の家」に改め、新設された「福島県いわき海浜自然の家」も併せて管理運営を行い、さらに平成10年4月からは名称を「財団法人福島県自然の家」（以下「財団法人」という。）に改めて、従来福島県教育委員会が直接管理運営していた「福島県郡山少年自然の家」と「福島県会津少年自然の家」を加えた4つの自然の家の管理運営を行ってきた。財団法人は、平成18年度から平成20年度の3年間、福島県教育委員会から指定管理者の指定を受けて相馬海浜自然の家を含む4つの自然の家の管理運営を行ってきたが、平成21年3月31日をもって財団法人が解散したことから、平成21年4月より、開所以来初めて、設置者である福島県教育委員会が相馬海浜自然の家の管理運営を行っている。なお、相馬海浜自然の家は、平成21年3月末の財団法人の解散まで、財団本部として4つの自然の家の管理運営の取りまとめを行ってきた。

相馬海浜自然の家は、「青年の家」としてスタートしたため、子ども向けの遊具がないことや、4つの研修室を持ち研修機能が充実していることなど、他の3施設と施設ハード面で大きな違いがある。その結果、他の3施設と比較して、利用者全体に占める高校や大学、青年層の割合が高くなっている。

開所以来の延利用者数は平成12年5月10日をもって100万人に達し、平成23年3月末では135万1,575人となっている。

1 職員組織

職員	所長	次長	主任 社会教育 主事	社会 教育 主事	主事	計
人員	1	1	1	2	1	6名

2 平成22年度重点目標と成果

「来る人には楽しみを来た人には喜び（ハピネス）を」を昨年度に引き続きスローガンとして、以下の重点目標を掲げて管理運営に努めた。

(1) 利用者に豊かな自然体験活動を提供し、満足感と成就感を得ることができるよう適切な指導・支援に努める。

ア 専門職員として利用者の研修のねらいに応じた相談機能や支援機能を発揮し、研修目的の達成に貢献できた。

また、利用者と専門職員の役割分業型による活動の充実を図ることができた。

イ 利用者に合わせた担当職員の配置を行ったことで、利用者と職員の双方にとって有益なふれあいと感動の深まりを生むことができた。また、スタッフの明朗・親切・丁寧な言動と迅速かつ柔軟な対応が、利用者アンケートにおける高い評価につながったことは大きな成果である。

ウ 県北域内市町村教育委員会等に対して、平成21年度より継続した取組として「複数学校による宿泊体験活動の合同実施」を提案した結果、昨年度同様合同実施による利用申込みが増加した。

エ 専門職員としての資質と技術力をさらに高め、より一層利用者の研修の充実に貢献できるよう計画的な職員研修が必要である。

(2) 地域との結びつきを深め、生涯学習実践の場として機能する施設運営に努める。

ア 地域の関係機関・団体との連携や地域人材の協力による企画事業の試みなど、自然体験活動及び学習実践の場の提供に積極的に努め、生涯学習施設としてその機能を発揮できた。

イ 広報に関しては、事業案内等のメール配信やHPの充実を図ったが年間の実利用者増までにはいたらなかった。今後、関係機関を含め様々なネットワークを活用した利用拡大策を検討実施し、身近に利用できる生涯学習施設としての認知度の向上が課題である。

ウ 地域のボランティア人材の養成・活用は、野外の環境整備や活動支援等に必要不可欠ではあるが、交通手段や予算面での問題もありなかなか進まない。しかしながら、今後の施設運営を考えると、早急に解決しなければならない課題である。

(3) 利用者の「安全・安心」に向けて、危機管理意識のもと事故の絶無に努める。

ア 全職員による週1回の安全点検を実施して、施設内外の危険箇所の早期発見と対応に努め、利用者の「安全」確保を図ることができた。

イ 活動プログラムの見直しを行って安全指導の留意点等をまとめ、利用者へ周知し事前指導に活用することで、大きな事故の未然防止を図ることができた。

ウ 宿泊利用者に参加いただき、実際に夜間の時間帯において、夜間警備員2名体制における防災訓練を実施し、課題と対応策を検討することができた。

エ 多様な利用団体の中には、安全に対する意識が乏しい指導者も多い。「安全・安心」は、利用者と施設の両者が協力して取り組んで初めて確保できることを訴え続ける必要がある。

(4) 経費節減の中、運営事務の見直しや指導・総務の一体化により、施設の適切な維持管理と円滑な運営に努める。

ア 総務から、予算面に関する定期的な資料・情報提供を

行うことにより、職員の経費節減やエコに対する意識付けは進んだが、利用者に対する意識の浸透までには至らなかつた。今後、利用者に対する訴求方法を工夫する必要がある。

第2節 施設・設備の概要

1 所在地

相馬市磯部字大洲 38 番地の 3

2 宿泊定員

- 本館定員 198 名 (ベッド室 21 室、
身障者用ベッド室 1 室、和室 2 室)
- キャンプ場定員 100 名 (4 人用テント 25 張)

3 敷地面積

- 200,000 m²

4 建物面積

- 4,333.63 m²
管理研修棟、宿泊棟、体育館、総合研修館、乾燥室、
エレベーター、温水シャワー室、身障者用トイレ・
浴室・シャワー室、屋外トイレ (キャンプ場) 他

5 運動広場面積

- 18,000 m²

6 設備・備品

- キャンプ場
(キャンプ用品一式、炊事場、トイレ、冷蔵庫、他)
- 運動広場
(野球場 1 面、ソフトボール場 1 面、
ゲートボール場 2 面、グラウンドゴルフ場 2 面設
置可、カヌー倉庫、他)
- 野外活動コース
(各種オリエンテーリングコース、ウォークラリー
コース、ナイトハイキングコース、他)
- 体育館
(バレーボールコート 1 面、バスケットボールコー
ト 1 面、バドミントンコート 2 面、他)
- 総合研修館
(ステージ、ピアノ、ビデオプロジェクター、放送
関係一式、卓球台、他)
- 研修室 3 室 (40 ~ 90 人用)
(黒板、テレビ、ビデオデッキ、スクリーン、他)
- 温水シャワー室 (男女各シャワー 10 個)
- その他
(サイクリング用自転車 100 台、釣り竿 100 本、カ
ヌー 15 艇、視聴覚機器、天体望遠鏡、双眼鏡、
液晶プロジェクター、バーベキュー用釜・鉄板他)

第3節 利用状況

1 月別利用状況

月	種別 区分	学校教育団体						社会教育団体				ファミリー	企画事業	合計
		幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	支援学校	大学等	少年	青年	一般成人	高齢者			
4	団体数	0	5	7	6	0	0	7	2	3	1	0	4	35
	実利用者	0	318	496	323	0	0	72	28	252	148	0	137	1,774
	延利用者	0	366	1,093	558	0	0	100	59	937	148	0	137	3,398
5	団体数	2	3	7	2	0	0	2	4	4	1	2	4	31
	実利用者	235	174	645	207	0	0	46	210	249	186	11	206	2,169
	延利用者	235	364	1,243	207	0	0	69	527	439	186	22	206	3,498
6	団体数	0	28	1	0	1	0	5	0	7	1	0	2	45
	実利用者	0	1,138	95	0	17	0	185	0	371	108	0	67	1,981
	延利用者	0	2,962	95	0	34	0	403	0	455	108	0	67	4,124
7	団体数	0	24	3	0	0	0	37	0	3	1	4	3	75
	実利用者	0	914	112	0	0	0	1,173	0	346	93	24	1,008	3,670
	延利用者	0	2,335	262	0	0	0	2,062	0	478	93	61	1,008	6,299
8	団体数	0	6	0	0	0	0	43	7	6	1	11	0	74
	実利用者	0	128	0	0	0	0	1,486	158	215	62	74	0	2,123
	延利用者	0	349	0	0	0	0	3,074	548	282	62	180	0	4,495
9	団体数	0	23	21	0	4	0	13	2	5	4	0	1	73
	実利用者	0	760	331	0	62	0	566	65	176	132	0	26	2,118
	延利用者	0	1,968	659	0	93	0	760	153	198	132	0	52	4,015
10	団体数	2	17	2	2	2	0	7	0	4	6	0	2	44
	実利用者	34	521	253	280	46	0	405	0	205	191	0	582	2,517
	延利用者	34	857	253	310	91	0	595	0	451	191	0	582	3,364
11	団体数	0	9	6	0	0	0	11	0	1	2	0	4	33
	実利用者	0	213	32	0	0	0	478	0	47	151	0	124	1,045
	延利用者	0	213	32	0	0	0	705	0	47	151	0	124	1,272
12	団体数	0	0	0	0	0	0	9	2	6	2	0	2	21
	実利用者	0	0	0	0	0	0	461	17	87	135	0	75	775
	延利用者	0	0	0	0	0	0	803	34	87	135	0	75	1,134
1	団体数	0	0	0	0	0	0	6	1	10	1	0	1	19
	実利用者	0	0	0	0	0	0	313	18	333	105	0	40	809
	延利用者	0	0	0	0	0	0	471	52	333	105	0	80	1,041
2	団体数	0	1	0	0	0	0	5	0	13	1	0	0	20
	実利用者	0	26	0	0	0	0	191	0	309	99	0	0	625
	延利用者	0	26	0	0	0	0	323	0	641	99	0	0	1,089
3	団体数	0	1	0	0	0	0	3	0	1	3	0	0	8
	実利用者	0	180	0	0	0	0	104	0	35	77	0	0	396
	延利用者	0	180	0	0	0	0	208	0	100	77	0	0	565
合計	団体数	4	117	47	10	7	0	148	18	63	24	17	23	478
	実利用者	269	4,372	1,964	810	125	0	5,480	496	2,625	1,487	109	2,265	20,002
	延利用者	269	9,620	3,637	1,075	218	0	9,573	1,373	4,448	1,487	263	2,331	34,294

2 利用団体別・宿泊日数利用状況

(1) 利用者数 ()はキャンプ等の内数

項目	団体数	実利用者	延利用者
利用者数	478	20,002	34,294
(キャンプ)	(22)	(604)	(1465)

(2) 利用者受け入れ日数

項目	利用可能日	利用日数	宿泊可能日	宿泊日数
利用日数	288	257	241	153
(キャンプ)	(109)	(27)	(95)	(20)

(3) 利用者区分

泊数	種別区分	学校教育団体						社会教育団体				ファミリー	企画事業	合計
		幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	支援学校	大学等	少年	青年	一般成人	高齢者			
1日	団体数	4	38	14	7	3		52		49	24	1	21	213
	実利用者	269	1,294	702	608	47		2,176	9	1,810	1,487	22	2,199	10,623
	延利用者	269	1,294	702	608	47		2,176	9	1,810	1,487	22	2,199	10,623
1泊2日	団体数		21	11	2	3		66	7	8		10	2	130
	実利用者		908	851	139	63		2,630	195	426		51	66	5,329
	延利用者		1,816	1,702	278	126		5,260	390	852		102	132	10,658
2泊3日	団体数		58	22	1	1		27	8	1		3		121
	実利用者		2,170	411	63	15		596	232	102		21		3,610
	延利用者		6,510	1,233	189	45		1,788	696	306		63		10,830
3泊4日	団体数							2	1	1		1		5
	実利用者							41	22	25		5		93
	延利用者							164	88	100		20		372
4泊5日	団体数							1	2	3		1		7
	実利用者							37	38	192		4		271
	延利用者							185	190	960		20		1,355
5泊以上	団体数									1		1		2
	実利用者									70		6		76
	延利用者									420		36		456
合計	団体数	4	117	47	10	7		148	18	63	24	17	23	478
	実利用者	269	4,372	1,964	810	125		5,480	496	2,625	1,487	109	2,265	20,002
	延利用者	269	9,620	3,637	1,075	218		9,573	1,373	4,448	1,487	263	2,331	34,294

3 研修活動の分類と実施団体数

※津波でデータ流失のため、作成不可

第4節 企画事業

1 利用促進事業

(1) 指導者事前研修会

ア 趣旨

当自然の家での研修をより効果的に実施するための事前研修。研修活動の企画・立案から諸手続きまでを研修する。

イ 対象

利用予定団体の担当者

ウ 期日

第1回：学校団体 4月20日（日） 日帰り
第2回：学校団体 4月21日（月） 日帰り
第3回：社教団体 6月13日（日） 日帰り
第4回：学校団体 7月21日（水） 日帰り

エ 内容

(ア) 所内および周辺の活動エリア視察
(イ) 研修活動の企画・立案と検討、プログラム調整
(ウ) 利用に関する諸手続きの研修

(2) 相馬地方の歴史を訪ねて

ア 趣旨

相馬地方の史跡を訪ねてまわり、郷土や自然についての理解を深める。

また、生涯学習施設としての自然の家の地元における認知度を高めるために地域との連携強化を図る。

イ 対象

○ 中学生から一般
(1, 2回が日立木地区 3, 4回が八幡地区)
○ 日立木・八幡公民館教室生

ウ 期日

第1回日立木編 4月18日（日）
第2回日立木編 5月 9日（日）
第3回八幡編 11月 7日（日）
第4回八幡編 11月21日（日）

エ 内容

相馬地方の旧所・名跡の探訪（日立木・八幡編）

(3) 鹿狼山ハイキング

ア 趣旨

季節の鹿狼山ハイキングを通して自然を満喫とともに、松川浦の環境と森林との関係について理解を深める。

イ 対象

一般（子どもから高齢者まで）

ウ 期日

4月11日（日）・11月14日（日）

エ 内容

ハイキング

(4) 磯と干潟の生物観察シリーズ① ~海の仲間出会い編~

ア 趣旨

原釜の人工磯や松川浦の干潟の生物を観察しながら、

自然への親しみと理解を深める。

イ 対象

一般（子どもから高齢者まで）

ウ 期日

5月30日（日）

エ 内容

(ア) 人工磯での生物観察とカニ釣り
(イ) 松川浦の干潟の生物観察

(5) 磯と干潟の生物観察シリーズ②

~絶滅危惧種ヒヌマイトンボ編~

ア 趣旨

松川浦に生息する絶滅危惧種のヒヌマイトンボの観察を通して環境問題に理解を深める。

イ 対象

一般（子どもから高齢者まで）

ウ 期日

7月11日（日）

エ 内容

ヒヌマイトンボの観察

(6) 海の日企画 思いっきり海浜チャレンジ2010

ア 趣旨

カヌーや海つりなどの海浜型のメイン活動を体験することにより、自然の家の特色やよさを理解してもらう。

イ 対象

一般（子どもから高齢者まで）

ウ 期日・参加者数

7月19日（月）

エ 内容

(ア) カヌーや海つりなどの海浜型活動の体験
(イ) フリーマーケット、クラフト作成等への参加

(7) とことん自然塾 ~わくわくチャレンジ体験~

ア 趣旨

松川浦を中心とした自然の中で野外活動の基本を学び、冒険的活動を通してたくましい心や体を育む。

(キャンプ生活)

イ 対象

小学校4, 5, 6年生及び中学生

ウ 期日

9月11日（土）～12日（日） 1泊2日

エ 内容

(ア) カヌー
(イ) 野外炊飯、テント泊
(ウ) 川遊び、磯遊び など

(8) 松川浦クリーンアップウォーク

ア 趣旨

ゆったりと徒歩で散策することで県立自然公園である松川浦の景観や松川浦歌碑の素晴らしさに気付くとともに、ゴミ拾いをして県立自然公園の環境整備を行う。

イ 対象

一般（子どもから高齢者まで）

ウ 期日

10月17日（日）

エ 内容

5Kmのコース上でウォーキングとゴミ拾い。

(9) 秋の感謝デー・磯部公民館学習発表会

ア 趣旨

公民館を中心とした地元の協力を得て、体験・展示コーナーやふれあい広場を開催し、地域と共に歩む「生涯学習拠点」としての自然の家に対する理解を深める。

イ 対象

一般（子どもから高齢者まで）

ウ 期日

10月24日（日）

エ 内容

- (ア) 生花、手芸、書道、絵画等の作品展示
- (イ) 各種体験コーナー（森のクラフト、キーホルダーメーカー製作、サイクリング、スコアオリエンテーリング、ストラックアウト 等）
- (ウ) 歌謡、舞踊、コーラス、3B体操、カラオケ発表等
- (エ) 食べるコーナー、遊ぶコーナー

(10) 森のようちえん ※台風のため中止

ア 趣旨

幼児と親が一緒になり、森林などの自然の中でめいっぱい楽しく遊び、自然に親しむとともに親子の絆を深める。

イ 対象

幼児とその保護者

ウ 期日

10月31日（日）

エ 内容

- (ア) ゲーム等による親子、子ども同士のふれ合い
- (イ) ターザンロープ、ブランコ、クラフト作り

(11) ~満天の星との出会い~ 冬の星空観察会

ア 趣旨

天体や星座の観察を通して、自然の素晴らしさや新たな発見・感動を味わうとともに自然に親しむ機会とする。さらに、星座などに关心・意欲を高めながら自然を愛する心情を育む。

イ 対象

一般（子どもから高齢者まで）

ウ 期日

12月11日（土）

エ 内容

月や冬の星座の観察

(12) お正月を飾ろう ~門松づくり~

ア 趣旨

ミニ門松の手作りに親子などで挑戦する。

イ 対象

小学生以上

ウ 期日

12月25日（土）

エ 内容

ミニ門松の手作り

(13) ものづくりを楽しもう！

ア 趣旨

日本の伝統的なたこ作りの活動を通して、高齢者と子ども達のふれあいを深める。

イ 対象

一般（子どもから高齢者まで）

ウ 期日

12月26日（日）

エ 内容

たこづくり・たこ揚げ

(14) ボランティア研修会

ア 趣旨

当所でのボランティア活動を希望する人がボランティアとして必要な知識や心構えについて研修を図る。

イ 対象

高校生から一般まで

ウ 期日

5月23日（日）

エ 内容

- (ア) 研修 講話：自然の家所長 説明会
- (イ) 体験 テント設営

2 4所協力による企画事業

(1) 福島の冬！ウィンターフェスティバル

ア 趣旨

雪国ならではの雪と親しむ活動の体験を通して、冬の福島の風情や自然の雄大さに触れながら県内各地からの参加者相互の交流を深める。

イ 対象

小・中学生とその家族

ウ 期日

1月29日（土）～30日（日） 1泊2日

エ 内容

- (ア) 会津坂下町営スキー場でのスキービークや雪遊び
- (イ) 会津自然の家での宿泊体験

福島県いわき海浜自然の家

第1節 概要

福島県いわき海浜自然の家は、海と山の豊かな自然環境の中で様々な活動や集団宿泊体験を通して、心身ともに健全な青少年を育成することを目的とした社会教育施設として平成8年7月に開所した。

開所以来、学校の利用はもとより、スポーツ少年団、子ども会などの社会教育団体や家族など、あらゆる年齢層の人達に利用されている。

本年度も、本所の立地条件（海浜型・林間型）を活かした活動内容の検討を行うとともに、小・中学生とその保護者を対象とした「遊ぼう！初夏の海で（釣り・磯遊び）」や地域に開かれた施設として「オープンデー」を実施するなど、利用者のニーズに即した企画事業を開催した。

また、ボランティア養成講座の開催するとともに、環境ボランティアや支援ボランティア（養成講座修了者が登録）の育成に努め、年間を通して延べ242名のボラティアの方に協力をいただいた。

本年度の利用状況は、546団体、延べ利用者数が66,611人となり、平成22年7月には開所以来の利用者数が100万人を突破した。

1 平成22年度重点目標と成果

利用者が自然体験活動や研修活動等を通して、新たな発見や感動が得られ、満足感・充実感を味わうことにより、所期の目的が達成されるよう次の目標に取り組んだ。

(1) 本施設の設置目的の明確化とその周知及び利用促進を図る。

ア 学校団体については、教育施設として、青少年健全育成を目的とした利用のあり方を概ね達成できた。社会教育団体についても代表者打合せや受付時を活用し、周知に努めた。

イ オリエンテーションや放送での呼びかけを通して、社会的集団的ルールの定着を図ってきた。

ウ 利用団体の指導者への啓発的支援を通して、青少年の自主的自律的な態度の育成を図った。

エ 閑散期の企画事業が充実し、利用の促進につなげることができた。

(2) 利用者のニーズに対応した施設運営に努める。

ア 幼児から高齢者まで、多様なニーズに対応した幅の広いプログラムの開発に努めた。

イ 指導者ガイドブックの作成など、利用者のニーズに応じた活動支援の在り方を研究し、利用者の自主性・主体性を助長できるよう、工夫・改善に努めた。

(3) 事故の未然防止、危機管理体制の充実に努める。

ア 日頃から危機管理意識をもって、週一回、アスレチックコース等の安全点検を行い、事故防止に努めた。

イ 受付やオリエンテーション、活動支援において安全のための適切な助言や指導を行った。

ウ 所内活動や海浜活動中における自然災害等での避難方法をマニュアル化し、人命の安全と被害防止に努めた。

エ 学校団体、社教団体ともに事前研修会を実施し、安全で有効、適切な施設の活用について周知徹底するとともに、利用団体の指導者に対して適切な依頼、指示を行い安全面の徹底を図った。

オ 事故発生時の緊急対応及び連絡体制を明確にし、情報の共有化を徹底し、危機管理体制の充実に努めた。

(4) 定期的な業務内容の点検と改善に努める。

ア 計画的かつ定期的な評価により、改善点の明確化を図り、密度の高い施設運営に努めた。

イ 多面的多角的な視点から業務遂行の在り方について検討し、開かれた施設運営に努めた。

ウ 利用者へのアンケート結果を参考に、業務遂行の在り方を検討し、利用者の目線に立った支援や管理運営に努めた。

(5) 地域との連携を深め、生涯学習実践の場として機能する施設運営に努める。

ア ボランティア養成と活動の場を的確に位置づけ、地域に根ざした施設づくりに努めた。

イ 支援ボランティアに企画事業の活動の一部を任せるなど、活用の場の開拓に努めた。

ウ 公民館、支所、消防署、派出所等、関係機関との連携を十分に図ることができた。

エ 環境ボランティアが年間を通してプランターや花壇の除草、花の植え替えを行い、来所者の目を楽しませることができた。

オ オープンデーを地域諸団体等の協力を得て開催した。

カ いわき教育事務所との連携の下に、地域の生涯学習の推進に努めた。また、企画事業においては関係諸機関との連携を図ることができた。

2 職員組織

職名	所長	次長	主任社会教育主事	指導主事	社会教育主事	計		
人員	1	1	1	0	1	0	4	8

第2節 施設・設備の概要

1 所在地

いわき市久之浜町田之網字向山53

2 宿泊定員

- 本館定員 300名（和室28室）
- ロッジ定員 160名（10棟）
- テント定員 100名（25張）

3 敷地面積

- 350,171m²

4 建物面積

- 6,696.97m²
- 中心施設
本館（宿泊室、オリエンテーションホール、研修室、野外学習室、事務室、食堂、浴室等）
体育館
- 野外施設
管理棟、ロッジ、便所等

5 野外活動施設面積

- つどいの広場 7,000m²
- 多目的広場 8,890m²
- 自然観察園 4,050m²
- みんなの広場 4,700m²

6 設備備品等

- 体育館（バレーボールコート2面、バスケットボールコート1面、バトミントンコート2面、卓球台3台、ピアノ1台他）
- 野営場（野外炊飯、キャンプ用品一式、冷蔵庫他）
- 野外活動設備（フィールドアスレチックコース、冒険の森歩道、トリムコース、営火場7ヵ所、各種オリエンテーリングコース、ナイトハイキングコース、ウォークラリーコース、ロープコース、マウンテンバイクコース他）
- 多目的広場（サッカー、ソフトボール、マウンテンバイクコース他）
- その他（視聴覚機器、天体望遠鏡、双眼鏡、七宝焼窯、釣り用具一式、海浜活動用具一式）

第3節 利用状況

1 月別利用状況

月	種別	学校教育団体						社会教育団体				ファミリー	企画事業	合計
		区分	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	大学等	少年	青年	一般成人	高齢者		
4	団体数	1	4	1	5	0	0	6	1	1	0	1	2	22
	利用人員	25	239	174	800	0	0	347	13	20	0	3	151	1,772
	延人数	25	239	174	1,597	0	0	694	26	20	0	6	195	2,976
5	団体数	0	29	2	0	2	0	2	2	0	0	2	4	43
	利用人員	0	2,380	278	0	88	0	33	69	0	0	13	128	2,989
	延人数	0	5,438	556	0	264	0	66	138	0	0	24	182	6,668
6	団体数	0	64	0	0	0	0	8	0	0	0	1	2	75
	利用人員	0	4,342	0	0	0	0	191	0	0	0	9	33	4,575
	延人数	0	11,915	0	0	0	0	299	0	0	0	18	52	12,284
7	団体数	12	41	0	4	3	0	31	0	0	0	6	3	100
	利用人員	708	2,242	0	177	108	0	1,770	0	0	0	40	114	5,159
	延人数	1,379	5,652	0	325	216	0	3,798	0	0	0	91	114	11,575
8	団体数	0	16	1	2	0	0	31	2	0	0	13	1	66
	利用人員	0	953	36	30	0	0	1,362	29	0	0	74	39	2,523
	延人数	0	2,597	108	70	0	0	2,856	52	0	0	169	78	5,930
9	団体数	1	69	3	0	1	0	11	0	2	0	5	3	95
	利用人員	43	3,827	367	0	36	0	496	0	65	0	38	67	4,939
	延人数	43	9,970	367	0	70	0	870	0	65	0	76	99	11,560
10	団体数	0	39	0	1	1	0	4	2	1	0	3	3	54
	利用人員	0	2,689	0	8	57	0	175	84	308	0	13	928	4,262
	延人数	0	7,033	0	8	114	0	301	132	616	0	26	960	9,190
11	団体数	2	8	2	0	0	1	7	0	1	2	0	1	24
	利用人員	39	383	78	0	0	12	428	0	26	38	0	14	1,018
	延人数	39	1,025	78	0	0	24	787	0	26	38	0	21	2,038
12	団体数	0	2	0	0	0	0	10	0	0	0	1	2	15
	利用人員	0	127	0	0	0	0	567	0	0	0	5	82	781
	延人数	0	127	0	0	0	0	1,048	0	0	0	10	164	1,349
1	団体数	4	2	0	0	0	0	7	2	0	0	1	2	18
	利用人員	179	51	0	0	0	0	368	199	0	0	4	59	860
	延人数	218	51	0	0	0	0	679	199	0	0	8	88	1,243
2	団体数	11	1	0	0	0	0	5	1	1	0	0	4	23
	利用人員	501	32	0	0	0	0	233	46	57	0	0	94	963
	延人数	501	96	0	0	0	0	460	92	57	0	0	104	1,310
3	団体数	5	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	11
	利用人員	232	25	0	0	0	0	63	0	0	17	0	106	443
	延人数	232	25	0	0	0	0	108	0	0	17	0	106	488
合 計	団体数	36	277	9	12	7	1	123	10	6	3	33	29	546
	利用人員	1,727	17,290	933	1,015	289	12	6,033	440	476	55	199	1,815	30,284
	延人数	2,437	44,168	1,283	2,000	664	24	11,966	639	784	55	428	2,163	66,611

2 利用団体別・宿泊日数利用状況

(1) 利用者数

項目	団体数	実利用者数	延宿泊者数	延利用者数
利用者数	546	30,284	36,327	66,611
(キャンプ)	(2)	(61)	(61)	(122)
(ロッジ)	(164)	(9399)	(9399)	(18948)

(2) 利用者受け入れ日数

項目	利用可能日	利用日数	宿泊可能日	宿泊日数
利用日数	290	253	230	161
(キャンプ)	(102)	(2)	(90)	(2)
(ロッジ)	(151)	(110)	(121)	(97)

※ () はキャンプ、ロッジの内数

(3) 利用者区分

泊数	種別区分	学校教育団体										ファミリー	企画事業	合計
		幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	大学等	少年	青年	一般成人	高齢者			
1日	団体数	23	15	6	3	0	0	10	3	5	3	1	16	85
	実利用者数	1,066	774	619	80	2	0	784	241	168	55	10	1,467	5,266
	延宿泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	1,066	774	619	80	2	0	784	241	168	55	10	1,467	5,266
1泊2日	団体数	10	101	2	7	5	1	99	7	1	0	25	13	271
	実利用者数	612	6,154	278	885	199	12	4,565	199	308	0	149	348	13,709
	延宿泊者数	612	6,154	278	885	199	12	4,565	199	308	0	149	348	13,709
	延利用者数	1,224	12,308	556	1,770	398	24	9,130	398	616	0	298	696	27,418
2泊3日	団体数	3	161	1	2	2	0	14	0	0	0	7	0	190
	実利用者数	49	10,362	36	50	88	0	684	0	0	0	40	0	11,309
	延宿泊者数	98	20,724	72	100	176	0	1,368	0	0	0	80	0	22,618
	延利用者数	147	31,086	108	150	264	0	2,052	0	0	0	120	0	33,927
3泊4日	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延宿泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4泊5日	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延宿泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5泊6日	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延宿泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	団体数	36	277	9	12	7	1	123	10	6	3	33	29	546
	実利用者数	1,727	17,290	933	1,015	289	12	6,033	440	476	55	199	1,815	30,284
	延宿泊者数	710	26,878	350	985	375	12	5,933	199	308	0	229	348	36,327
	延利用者数	2,437	44,168	1,283	2,000	664	24	11,966	639	784	55	428	2,163	66,611

3 研修活動の分類と実施団体数

分類	番号	種別 プログラム名	学 校 教 育 团 体						社会教育団体				アマリー	企画事業	合 計	
			幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	大学等	少年	青年	一般成人	高齢者				
環境プロ	1	自然(海浜)散策・観察	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
	2	ネイチャーゲーム	0	16	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3	23
	3	ネイチャーラリー	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	6	
	4	ボンファイア	0	7	0	0	0	0	4	1	0	0	4	0	16	
	5	ナイトハイキング	1	173	2	0	2	0	26	0	0	0	7	5	216	
	6	グリーンアドベンチャー	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	7	スタートウォッキング	0	3	0	0	0	0	5	0	1	0	9	0	18	
野外・海浜	8	磯遊び	2	157	0	0	3	0	26	0	0	0	13	7	208	
	9	魚釣り	0	29	0	0	1	0	9	0	0	0	5	7	51	
	10	いかだ作り・乗り	0	84	0	1	1	0	23	0	0	0	2	3	114	
	11	カヌー	0	8	0	0	0	0	14	1	0	0	3	0	26	
	12	海水浴	0	0	1	0	0	0	6	0	0	0	12	0	19	
	13	ボディボード	0	87	0	0	0	0	34	1	0	0	2	2	126	
	14	砂の芸術	3	64	1	0	0	0	6	0	0	0	0	3	77	
	15	ビーチバレー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
野外・エリア内	16	冒険の森散策	1	53	1	0	1	0	5	0	2	0	5	0	68	
	17	ハイキング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	18	スコアオリエンテーリング [△]	0	84	1	1	0	0	11	0	0	0	3	2	102	
	19	ポイントオリエンテーリング	0	2	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	8	
	20	ビンゴオリエンテーリング	0	12	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1	17	
	21	動物オリエンテーリング	0	0	0	0	1	0	8	0	0	0	3	0	12	
	22	自然の家探検ラリー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	23	海岸ウォークラリー	0	25	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	29	
	24	フィールドアスレチック	1	60	0	0	0	0	15	0	0	0	7	0	83	
	25	野外炊飯	3	133	4	7	3	0	30	3	1	0	6	5	195	
	26	キャンプファイア	3	127	0	1	1	0	26	2	0	0	0	2	162	
	27	マウンテンバイク	0	23	0	0	0	0	7	1	0	0	9	0	40	
	28	ペタンク	0	17	0	0	0	0	4	0	0	0	1	2	24	
	29	トレッキング(二ヶ箭山登山)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	30	グランドゴルフ	0	15	0	1	0	0	5	1	1	0	2	0	25	
	31	ターゲットボードゴルフ	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	
	32	陣取りゲーム・旗取りゲーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	33	野外ゲーム・ロープコース	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3	
	34	フライングディスク(フリスビー)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	35	トリムランド	6	10	0	0	1	0	4	0	0	0	1	0	22	
	36	テント設営・撤収	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4	

室内 ・ 創作	37	貝飾り	0	8	0	0	0	0	0	1	0	1	0	10
	38	貝壁飾り	1	10	0	0	2	0	1	0	0	0	2	0
	39	ストーンアート	0	5	0	0	1	0	2	0	0	0	0	9
	40	紙飛行機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	41	キー ホルダー	1	2	0	0	0	0	4	0	1	0	1	9
	42	七宝焼き	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	43	しおり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	44	草木染め	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	45	木製コースター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	46	飛ぶ輪っか	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	47	貝の絵ろうそく	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4
	48	木彫るだー	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0
	49	自主製作・その他の製作	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
室内 ・ ゲー ム	50	キャンドルファイア	3	68	0	1	5	0	8	1	1	0	0	4
	51	室内ゲーム	5	8	0	0	2	0	17	1	2	0	5	1
	52	室内オリンピック	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	53	室内スポーツ(卓球・バドミントン)	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	0
	54	室内ビンゴオリエンテーリング	0	43	0	0	2	0	8	0	0	0	1	3
	55	室内ペタンク	0	14	0	0	1	0	8	1	0	0	2	2
	56	ストラックアウト	10	19	0	0	1	0	12	1	0	1	2	4
	57	フリーブロー	0	15	0	0	1	0	1	0	0	1	0	19
	58	輪投げ	12	19	0	0	1	0	3	0	0	1	0	37
	59	インディアカ・キンボール・ドッヂビー	9	8	0	0	0	0	8	0	0	0	0	25
	60	伝承遊び	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0
	61	海浜なんでもチャンピオン	11	15	0	0	2	0	3	0	0	1	0	4
	62	サイクリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	63	移動体験学習・活動	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1
	64	学習(研修・講義等)	0	1	2	31	0	0	24	13	1	0	0	10
	65	スポーツ(練習等)	0	0	3	0	0	0	20	1	1	2	0	1
	66	合唱・合奏等練習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合 計	73	1,464	18	44	34	0	419	28	15	7	123	81
														2,306

第4節 企画事業

1 指導者の研修

(1) 学校団体

ア 目的

当自然の家での研修をより効果的に実施するための事前研修。研修活動の企画・立案から諸手続き、実技までを研修する。

イ 期日・対象・参加者数

(第1回)

(ア) 期日 平成 22 年 4 月 22 日 (木) ~ 23 日 (金)
(イ) 対象 平成 22 年 6 月 15 日 (火) ~ 8 月 11 日 (水)
　　に利用する学校の教職員

(ウ) 参加者数 83 名

(第2回)

(ア) 期日 平成 22 年 4 月 27 日 (火) ~ 4 月 28 日 (水)
(イ) 対象 平成 22 年 8 月 26 日 (木) ~ 9 月 18 日 (土)
　　に利用する学校の教職員

(ウ) 参加者数 68 名

(第3回)

(ア) 期日 平成 22 年 5 月 11 日 (火) ~ 12 日 (水)
(イ) 対象 平成 22 年 9 月 24 日 (金) ~ 11 月 19 日 (金)
　　に利用する学校の教職員

(ウ) 参加者数 58 名

(第4回)

(ア) 期日 平成 23 年 2 月 17 日 (木) ~ 18 日 (金)
(イ) 対象 平成 23 年 4 月 1 日 (金) ~ 6 月 11 日 (土)
　　に利用する学校の教職員

(ウ) 参加者数 60 名 合計 269 名

ウ 研修内容

(ア) 施設見学 本館、野営場、ロッジ等
(イ) 実技研修 各種オリエンテーリング、磯遊び、釣り
　　体験、ネイチャーゲーム、キャンプファイ
　　ア、ナイトハイク、野外炊飯等
(ウ) 活動計画作成 活動プログラムの立案、同時期利用
　　校との活動場所調整

(2) 社会教育団体

ア 目的

当自然の家での研修をより効果的に実施するための事前研修。研修活動の企画・立案から諸手続き、実技までを研修する。

イ 期日・対象・参加者数

(ア) 期日 平成 22 年 5 月 29 日 (土) ~ 5 月 30 日 (日)
(イ) 対象 平成 22 年度に利用する 10 名以上の社会教育
　　関係団体の引率者

(ウ) 参加者数 38 名

ウ 研修内容

(ア) 施設見学 本館、野営場、ロッジ等
(イ) 実技研修 山の活動体験、野外炊飯、キャンプファイ
　　ア、ナイトハイク、海の活動体験

2 利用促進事業

(1) 目的

様々な自然体験学習を実施することにより、人との交流
や親子のふれあいを深め、自主性・創造性・社会性を育て
るとともにボランティア活動の場とする。

(2) 内容

ア 遊ぼう！初夏の海で～釣り・磯遊び～

(ア) 期日 平成 22 年 7 月 11 日 (日)
(イ) 対象 県内の小・中学生とその保護者
(ウ) 参加者数 75 名
(エ) 活動内容 四倉港での防波堤（港）釣り、舟戸海岸
　　での磯釣りと磯遊び体験

イ 第6回いわき海浜自然の家オープンデー

(ア) 期日 平成 22 年 10 月 24 日 (日)
(イ) 対象 小・中学生とその保護者、地域の方々
(ウ) 参加者数 887 名
(エ) 活動内容 海浜フレンドパーク、海浜オリエンテー
　　リング大会、海浜なんでもチャンピオン、
　　海浜ペタンク大会、グランドゴルフ大会、
　　野外炊飯、クラフト体験、海浜フォトギャ
　　ラリー、ボランティア企画等

ウ 親子のつどい（ファミリーウィンターランド）

(ア) 期日 平成 22 年 12 月 4 日 (土) ~ 5 日 (日)
(イ) 対象 県内の小・中学生とその保護者
(ウ) 参加者数 72 名
(エ) 活動内容 クラフト制作、親子交流会、親子アウト
　　ドアクギング

エ クラフトを楽しむつどい

(ア) 期日 ・第1回 平成 23 年 1 月 27 日 (木)
　　・第2回 平成 23 年 2 月 3 日 (木)
(イ) 対象 県内の成人
(ウ) 参加者数 ・第1回 30 名
　　・第2回 23 名
(エ) 活動内容 つるかご作り、竹細工、ストーンアート、
　　ペーパークラフト

オ 森の音乐会

(ア) 期日 平成 23 年 3 月 4 日 (金)
(イ) 対象 県内の成人、家族
(ウ) 参加者数 101 名
(エ) 活動内容 サクソフォンアンサンブル公演

3 啓発的事業

(1) 心に翼・ふれあい夏キャンプ

ア 目的

自然体験活動を通して交流を深め、自然や人とふれあ
う喜びを体得するとともにお互いの理解を深める。

イ 期日 平成 22 年 8 月 7 日 (土) ~ 8 日 (日)

ウ 対象 県内の小・中学生、特別支援学校に在籍する児童・生徒

エ 参加者数 39名

オ 内容 ふれあいゲーム、ニュースポーツ、クラフト、ヨーヨー釣り、海浜チャンピオン、キャンプファイア、ボディボード、いかだ乗り、カヌー、タイヤチューブ乗り、スイカ割り、

(2) 心に翼・ふれあい秋キャンプ

ア 目的

不登校の児童・生徒を対象に自然体験や交流体験等を通して協調性・自立性・社会性を養う。

イ 期日・対象・参加者数

(ア) 期日 平成22年10月2日(土)～3日(日)

(イ) 対象 県内の不登校傾向の小・中学生とその保護者

(ウ) 参加者数 32名

(エ) 内容 開講式、二ツ箭山登山、キャンドルファイア、ボランティア活動体験、閉講式

4 その他の企画事業

(1) ボランティア養成講座

ア 目的

当所の果たす役割について理解を深め、自然体験活動を支援する上で必要な知識と技能を習得するとともに、当所の施設ボランティアとして活動できるようにする。

イ 期日・対象・参加者数

(第1回)

(ア) 期日 平成22年6月12日(土)～13日(日)

(イ) 対象 高校生、大学生、専門学校生及び一般社会人で当施設のボランティアとして活動に関心のある者

(ウ) 参加者数 19名

(エ) 内容 開講式

講話「施設とボランティアの役割」
演習「グループワーク(人間関係づくり・ボランティアとしてのあり方)」
「貝の壁飾り」
「キャンプファイア」、「ナイトハイク」
「部屋点検研修」
「釣り・磯遊びの支援」

(第2回)

(ア) 期日 平成22年7月4日(日)

(イ) 対象 高校生、大学生、専門学校生及び一般社会人で当施設のボランティアとして活動に関心のある者

(ウ) 参加者数 27名

(エ) 内容 施設案内(野営場)

講義「肢体不自由児者への理解とサポートの仕方について」
演習「肢体不自由児者とのかかわり方」

「『遊ぼう！初夏の海』について」

「『オープンデー』について」

(第3回)

(ア) 期日 平成22年9月12日(日)

(イ) 対象 高校生、大学生、専門学校生及び一般社会人で当施設のボランティアとして活動に関心のある者

(ウ) 参加者数 15名

(エ) 内容 演習「『ニュースポーツ』、『海浜チャンピオン』等」

「グループワーク(秋キャンプ・オープンデーに向けて)」

(第4回)

(ア) 期日 平成22年11月13日(土)～14日(日)

(イ) 対象 高校生、大学生、専門学校生及び一般社会人で当施設のボランティアとして活動に関心のある者

(ウ) 参加者数 14名

(エ) 内容 ボランティアの登録について

演習「ボランティア活動」

「グループワーク(今年度の反省と来年度に向けて)」

閉講式

5 協力事業

(1) 福島の冬！ ウィンターフェスティバル

(主催：会津自然の家)

ア 目的

福島の冬の風情や伝統文化のすばらしさを発見させるとともに参加者相互の交流を図る。

イ 期日・対象・参加者数

(ア) 期日 平成23年1月29日(土)～30日(日)

(イ) 対象 小・中学生とその保護者

(ウ) 参加者数 29名(当所からの参加者)

福島県郡山自然の家

第1節 概要

郡山自然の家は、昭和47年に「福島県少年自然の家」という名称で設立され、小・中学校の宿泊体験学習の場として開所して以来38年が経過し、平成21年10月には、延べ利用者数が150万人に達した。

本施設は、郡山駅より11km、郡山南インターより車で8分という交通の便に恵まれ、しかも豊かな自然環境に囲まれている都市近郊型の自然の家であり、心身共に健全な青少年と心豊かな社会人を育成することを目的とした教育施設である。

平成20年度まで11年間、県内4つの自然の家を運営してきた財団法人福島県自然の家が解散し、平成21年度から県直営としての運営形態に変わり2年目を終了した。

利用者は、これまで主体であった小・中学生のみならず、高校生、一般社会人、家族など利用者層が多種多様になってきている。恵まれた自然環境の中で、「みどり・でいい・感動」をキャッチフレーズに、野外活動や集団宿泊活動を通して、「自然に親しむ心や畏敬の念」「規律・協同・友愛・奉仕の精神」「自ら実践し、創造する態度」の育成を目指し、様々な活動を展開してきた。

さらに本所は生涯学習の拠点として、広く県民の皆様に利用していただけるような施設を目指し、施設の改築・改修や本館の段差を解消するなど障がい者にもやさしい施設づくりを進めてきた。

また、幼稚園から高齢者までの幅広い年齢層に対応し、多くの人に活用されるよう、多種多様な企画事業を展開するとともに、特色あるプログラムの開発に努めてきた。

なお、平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」(M9.0)及びその後の東京電力福島第一原子力発電所の事故では、当所は幸い大きな被害を受けることはなかったが3月12日より臨時休所、3月15日からは一次避難所となり最大約270名の被災者の受入を行った。

その結果、年間の利用状況は例年と比較しやや少なくなり、利用団体数453団体、延べ利用者数28,461人となった。

1 職員組織

職員組織は、下の通りである。

職名	所長	次長	主任	社会教育指導主任	指導主事	計
人員	1	1	1	1	1	6

2 平成22年度重点目標と成果

(1) 利用団体への支援

ア 団体が主体的に活動できるようにするために、学校利用指導者研修会や社会教育団体利用指導者研修会の充実を図るなど、利用団体の指導者との連携を密にしてきた。

研修会では施設の概要を説明し、研修のねらいや活動計画の立案に対しての指導・援助を行った。また、事前打合せや実地踏査・下見等を奨励し、各利用団体が主体的に活動できるように支援した。両研修会とも諸般の事情により日帰り開催としている。

イ 活動計画の作成に当たっては、利用団体がより主体的に活動できるように、利用団体の目的やニーズに応じて、弾力的に支援した。

さらに、利用者が自然や友達とのふれあいをより深め、新たな発見や気づきを重視した活動ができるよう、ゆとりある日程の作成を働きかけた。

(2) 利用者の声を生かす

ア 利用団体の指導者及び利用者の声をアンケート等により集約・分析して、活動環境の充実やプログラムの開発、運営に生かした。

イ 学校利用指導者研修会や社会教育団体利用指導者研修会参加者の声やアンケートをもとに、その後の運営の改善を図った。

(3) 環境保護の視点に立った環境整備

ア 手入れが行き届いた施設設備を目指して、日常点検や活動開始前の点検を常に心掛けた。

イ 自然保護に配慮したコース案内板等の補修及び更新を行ってきた。また、樹木にやさしくという考えに立って、針金等による補修を行わないようにした。同時に、エリア内美化活動への参画を利用団体にも啓発した。(利用学校へのボランティア活動の推進)

ウ 館内については、季節ごとの掲示に心がけるなど変化のある計画的な掲示に努めた。

(4) 多様なニーズに対応できるプログラムの開発

ア 利用団体の研修のねらいも年々多様になってきており、団体のニーズに応じて弾力的に対応できるように努めた。

また、本所外でのプログラムとして、ふれあい科学館やムシティックワールド、猪苗代スキー場など、近隣施設との連携を図り、プログラムに広がりをもたらした。

イ 既存の活動種目を見直し、改善を加えた。特に、プログラムの内容が実態に合っているかという観点から再吟味して、より多くの利用者が楽しむことが可能な内容に改めた。

(5) 広報活動の展開

ア 多くの利用者に利用してもらえるよう、利用拡大に向けて、積極的に広報活動を行ってきた。学校利用の拡大については、地区校長会議でのPR活動を通して数多く

の学校に利用いただけるよう多様な利用方法について説明を行った。

イ 企画事業案内、ホームページ等の改善・充実、携帯サイトの充実、電子メールを利用した広報などを積極的に活用し、自然の家のPRに努めた。

ウ 企画事業などでは、報道機関を通した周知活動や広報活動を積極的に行い、利用拡大を推進してきた。

(6) 特色ある企画事業の開発

ア 9月下旬には、『第9回郡山自然の家オープンデー』を実施し、地域と共に歩む自然の家を目指し、本所を開放して自然体験プログラムを体験していただいた。

2月には、『わくわく！ファミリー冬のつどい』を実施し、猪苗代スキー場で親子でスキーやそり滑りを体験するとともに、夜はクラフト体験を行い、親子のふれあいを深めた。

イ 本所のメイン事業である『夢冒険キャンプ』は、様々な困難に打ち勝つことのできる子どもたちの育成をテーマに、2泊3日で実施した。1日目は所内での活動を中心におりジナルのスコアOLや野外炊飯を実施した。2日目は御靈櫃登山を実施し、夜はキャンプファイヤーを実施した。最終日の3日目は猪苗代湖でのいかだ体験などを行った。3日とも天候に恵まれ子どもたちにとって貴重な体験になった。また、森の中での活動、湖での活動、山での活動と様々な自然活動を体験することができ、子どもたちは大きく成長した。なお、この事業に実施にあたっては、福島大学を中心とした多くの学生ボランティアの支援により運営している。

ウ 会津自然の家の企画事業『福島の冬！ウインターフェスティバル』は、郡山、相馬海浜、いわき海浜の各自然の家が協力する形で実施した。各自然の家が県内各担当エリアで募集・引率をした。会津自然の家に親子で宿泊し、会津の冬の風情や伝統文化のすばらしさを体感していただいた。

(7) 安全対策の充実

「事故はどこでもいつでも起こり得る」という認識に立って、所員の安全意識の向上を図り、施設設備の日常点検及び定期点検の実施はもちろんのこと、利用者に対しても働きかけ、積極的に安全対策を行ってきた。

新型インフルエンザ対策にはマニュアルを作成し、所内での感染を未然に防ぐための対策を講じてきた。

食中毒防止については、「手洗い・アルコール消毒の徹底」を図ってきた。食事を提供する給食業者や利用者の意識も高く、大きな問題は無かった。

スズメバチ対策については、捕虫装置を設置してハチを捕獲する対策を講じてきた。特に、今年度は設置箇所を増やしたり、コース点検を強化したりするなどして対応してきた。巣を発見した場合は、必要に応じて郡山市公園緑地課と連携を図りながら、早期の駆除に努めた。また、松食い虫による被害木も数多く見られ、全活動エリア内の被害状況調査を行うとともに、可能な限り伐採

に努めた。

防火に対しては、火を使う機会が多いので、利用者を交えた避難訓練を実施するとともに、日常の点検を怠ることのないように努めてきた。

また、不審者の侵入防止を図るため、マニュアルを作成し職員研修を深めた。常に来所者に声をかけ、車止めや施設の施錠の完全を期すなどして、安全管理に努めてきた。

(8) 施設設備等の充実

利用者に快適に利用してもらえるように、現在の施設環境のもとで、できることは何かを考えながらハード面・ソフト面の両面から改善を行ってきた。

また、安全対策として、利用者が利用するフィールドアスレチックなどの遊具全般の点検と併せて必要な補修整備に努めてきた。

(9) 地元施設等との連携

ア 10月11日(月)に実施された浄土松公園祭りに出演し、参加者が自由に体験できる「木の枝クラフト」を実施し324名が参加した。

イ 郡山市観光協会逢瀬支部との連携を図り、「逢瀬町パークファイブ」(仮称)の実施に向けて検討を図ってきた。これは、逢瀬地区にある5つの公園施設(逢瀬公園、郡山自然の家、高篠山森林公園、浄土松公園、清水池公園)が連携を図り、各施設の事業をスタンプラリーで結ぶという計画である。

第2節 施設・設備の概要

1 所在地

〒963-0213

郡山市逢瀬町多田野字中丸山46番地

2 宿泊定員

- 本館 166名(14部屋)
- ロッジ 126名(9棟)

3 敷地面積

237,587.59m²

4 建物面積

延床面積 3,806.08m²

本館(管理棟・宿泊室・研修室・浴室)、体育館、食堂、総合活動館、野外活動センター、ロッジ等

5 設備備品等

野外活動設備(フィールドアドベンチャー設備、アーチェリー場、マウンテンバイク、スコアオリエンテーリングコース、フィールドワークコース、営火場等)、野外炊飯場、天体望遠鏡、運動及び野外活動用具、視聴覚機器、インターネット接続大型液晶テレビ等

第3節 利用状況

郡山自然の家の利用者は、次のように大別される。

- 保育所、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校の園児や児童生徒及び引率者
- スポーツ少年団、子ども会育成会、学校・学級PTA等の社会教育団体に所属する児童生徒及び引率者

1 月別利用状況

月	種別区分	学 校 教 育 团 体					社 会 教 育 团 体				ファミリー	企画事業	合 計	
		幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	大学等	少 年	青 年	一般成人	高齢者			
4	団体数	1	0	0	1	0	0	13	6	2	0	3	3	29
	利用人員	10	0	0	210	0	0	394	103	33	0	13	257	1,020
	延人數	10	0	0	420	0	0	611	160	38	0	18	257	1,514
5	団体数	9	6	0	0	0	1	5	1	5	1	6	0	34
	利用人員	236	259	0	0	0	135	224	26	245	40	22	0	1,187
	延人數	299	605	0	0	0	135	407	52	264	40	22	0	1,824
6	団体数	3	21	0	1	2	0	7	0	3	1	3	2	43
	利用人員	326	1,287	0	44	109	0	248	0	36	40	24	96	2,210
	延人數	482	2,552	0	44	218	0	434	0	50	40	31	96	3,947
7	団体数	8	13	0	0	0	1	29	2	4	1	1	1	60
	利用人員	503	1,170	0	0	0	4	1,051	41	171	36	5	19	3,000
	延人數	1,004	1,687	0	0	0	8	1,772	96	171	36	5	19	4,798
8	団体数	1	1	0	0	0	0	20	4	8	0	3	1	38
	利用人員	24	39	0	0	0	0	786	131	426	0	19	30	1,455
	延人數	45	78	0	0	0	0	1,591	383	814	0	52	90	3,053
9	団体数	1	20	0	0	3	0	12	2	3	0	1	2	44
	利用人員	252	1,329	0	0	56	0	530	22	53	0	5	426	2,673
	延人數	252	2,569	0	0	112	0	939	57	69	0	5	439	4,442
10	団体数	6	13	0	2	2	0	21	4	6	0	1	0	55
	利用人員	225	1,455	0	41	103	0	680	64	416	0	6	0	2,990
	延人數	391	2,599	0	41	103	0	996	104	437	0	6	0	4,677
11	団体数	0	2	1	2	0	1	20	3	1	0	3	1	34
	利用人員	0	193	5	34	0	50	498	69	9	0	8	37	903
	延人數	0	193	5	34	0	50	750	113	9	0	8	37	1,199
12	団体数	2	0	0	0	0	0	15	2	3	0	5	1	28
	利用人員	165	0	0	0	0	0	234	29	206	0	18	28	680
	延人數	319	0	0	0	0	0	326	80	206	0	23	28	982
1	団体数	0	1	0	0	0	0	25	2	2	0	2	1	33
	利用人員	0	19	0	0	0	0	302	45	26	0	13	29	434
	延人數	0	38	0	0	0	0	394	45	27	0	13	58	575
2	団体数	8	2	0	0	0	0	29	0	1	0	0	2	42
	利用人員	281	42	0	0	0	0	448	0	1	0	0	52	824
	延人數	463	86	0	0	0	0	721	0	3	0	0	87	1,360
3	団体数	0	0	0	0	0	0	12	1	0	0	0	0	13
	利用人員	0	0	0	0	0	0	80	5	0	0	0	0	85
	延人數	0	0	0	0	0	0	80	10	0	0	0	0	90
合	団体数	39	79	1	6	7	3	208	27	38	3	28	14	453
	利用人員	2,022	5,793	5	329	268	189	5,475	535	1,622	116	133	974	17,461
	延人數	3,265	10,407	5	539	433	193	9,021	1,100	2,088	116	183	1,111	28,461

○ 家族等その他のグループ等

本年度の利用団体数は453団体、利用者数は、実利用者が17,461人、延べ利用者28,461人であり利用状況の詳細は、次のとおりである。なお、3月12日以降の震災及び原発事故による避難者は利用者数には含まれていない。

2 利用団体別・宿泊日数利用状況

(1) 利用者数

項目	団体数	実利用者数	延宿泊者数	延利用者数
利用者数	453	17,461	11,000	28,461
(キャンプ)	(5)	(142)	(163)	(305)
(ロッジ)	(27)	(1,044)	(1,094)	(2,138)

(2) 利用受け入れ日

項目	利用可能日	利用日数	宿泊可能日	宿泊日数
利用日数	275	263	233	136
(キャンプ)	(172)	(12)	(140)	(8)
(ロッジ)	(186)	(45)	(151)	(26)

(3) 利用者区分

泊数	種別区分	学校教育団体						社会教育団体				ファミリー	企画事業	合計
		幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	大学等	少年	青年	一般成人	高齢者			
1	団体数	16	17	1	5	2	2	125	7	25	3	23	10	236
	実利用者数	953	1375	5	119	103	185	2088	177	1389	116	103	867	7480
	延宿泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	953	1375	5	119	103	185	2088	177	1389	116	103	867	7480
1泊	団体数	13	58	0	1	5	1	75	11	6	0	3	3	176
	実利用者数	895	4222	0	210	165	4	3228	151	66	0	17	77	9035
	延宿泊者数	895	4222	0	210	165	4	3228	151	66	0	17	77	9035
	延利用者数	1790	8444	0	420	330	8	6456	302	132	0	34	154	18070
2泊	団体数	10	4	0	0	0	0	8	9	6	0	1	1	39
	実利用者数	174	196	0	0	0	0	159	207	101	0	6	30	873
	延宿泊者数	348	392	0	0	0	0	318	414	202	0	12	60	1746
	延利用者数	522	588	0	0	0	0	477	621	303	0	18	90	2619
3泊	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	66	0	7	0	73
	延宿泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	198	0	21	0	219
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	264	0	28	0	292
4泊	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延宿泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5泊	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延宿泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
以上	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延宿泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	団体数	39	79	1	6	7	3	208	27	38	3	28	14	453
	実利用者数	2022	5793	5	329	268	189	5475	535	1622	116	133	974	17461
	延宿泊者数	1243	4614	0	210	165	4	3546	565	466	0	50	137	11000
	延利用者数	3265	10407	5	539	433	193	9021	1100	2088	116	183	1111	28461

3 研修活動の分類と実施団体数

活動分類		学校教育利用団体						社会教育 利用団体	合計
		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	大学		
野外活動	キャンプ泊	2	2	0	2	0	1	25	32
	テント泊	0	0	0	0	0	0	3	3
	キャンピング(テント設営・撤収)	0	0	0	0	0	0	0	0
	野外炊飯	2	10	1	8	4	2	46	73
	キャンプファイヤー	8	20	0	0	3	0	19	50
	キャンドルファイヤー	5	7	0	0	2	0	4	18
	自然散策	20	12	0	3	3	0	6	44
	ネイチャーゲーム	1	9	0	0	0	0	6	16
	フィールドワーク	1	45	0	0	3	0	8	57
	フィールドアドベンチャー	3	36	0	2	1	0	22	64
	スコアオリエンテーリング	0	16	0	1	0	1	8	26
	スタンプラリー	0	4	0	0	1	0	7	12
	ウォークラリー	0	1	0	0	0	0	0	1
	沢遊び	0	0	0	0	0	0	2	2
	ハイキング	0	1	0	0	0	0	4	5
室内活動	登山	0	2	0	0	0	0	4	6
	雪遊び・そりすべり	0	6	0	0	0	0	10	16
	ナイトハイク	1	23	0	1	0	0	9	34
	星空ウォッキング	0	9	0	0	1	0	2	12
	伝承遊び	0	3	0	0	0	0	0	3
	旗とりゲーム	0	9	0	0	0	0	0	9
	室内スポーツ	13	8	7	12	0	0	68	108
	室内サーキット	5	19	2	1	6	0	57	90
	アーチェリー	0	46	0	1	1	0	20	68
	マウンテンバイク	0	33	0	1	1	0	8	43
室内活動	オンラインスケート	0	40	0	1	1	0	6	48
	フリスビーゴルフ	0	22	0	0	0	0	13	35
	グランドゴルフ	0	5	0	0	0	0	5	10
	フロッカー	0	4	0	0	0	0	0	4
	施設を訪ねて	0	3	0	0	0	0	0	3
	室内研修	5	6	1	45	2	13	91	163
	ボランティア	0	16	0	0	0	0	1	17
	張り子面	0	0	0	0	0	0	6	6
	森の標本箱	3	7	0	0	2	0	4	16
	押し花アート	0	0	0	0	0	0	6	6
森林環境学習プログラム	焼き板	0	5	0	0	0	0	4	9
	草木染め	0	1	0	0	0	0	3	4
	革細工	0	6	0	0	1	0	8	15
	プラ板キー ホルダー	1	0	0	0	1	0	2	4
	絵手紙	0	0	0	0	0	0	2	2
	森林環境学習プログラム	0	2	0	0	0	0	0	2
	職場体験学習プログラム	0	0	0	0	0	0	0	0
	高齢者対応クラフト教室	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		70	438	11	78	33	17	489	1,136

第4節 企画事業

1 研修会事業

(1) 学校利用指導者研修会（第1回、第2回）

ア 目的

当所を主体的に利用することができるようになるため、活動計画の立て方や研修の進め方について研修し、指導者としての資質を高める。

イ 期日・対象校及び参加者数

(ア) 第1回

期日 平成22年4月28日（水）
対象校 4月～8月までの利用学校
参加者 43名

(イ) 第2回

期日 平成22年6月29日（火）
対象校 9月～3月までの利用学校
参加者 35名

ウ 研修内容（第1回、第2回ともに同じ内容）

- ・本所プログラムの紹介
- ・施設案内
- ・実技研修（フィールドワーク、スコアOLなど）
- ・活動プログラムの作成（各学校の子どもの実態に応じて）
- ・活動プログラムの調整（所バス利用調整を含む）

(2) 社会教育団体利用指導者研修会（第1回、第2回）

ア 目的

当所を主体的に利用できるようになるため、研修計画の立て方や研修の進め方について研修し、指導者としての資質を高める。

イ 期日・対象者及び参加者数

(ア) 第1回

期日 平成22年6月 6日（日）
対象 7月までの利用団体の指導者
参加者 61名

(イ) 第2回

期日 平成22年7月11日（日）
対象 8月からの利用団体の指導者
参加者 19名

ウ 研修内容

- ・全体会（講義…充実した活動をするために）
- ・活動プログラムの調整及び作成（同日利用団体との打ち合わせ・調整）

(3) ボランティア研修会

ア 目的

当所でのボランティア希望者の研修を通して、本所のボランティアの資質の向上を図る。

イ 期日・対象者及び参加者数

期日 平成22年5月15日（土）
対象者 ボランティア希望者
参加者 中止（希望者がいないため）

ウ 研修内容

- ・講話、テントの張り方、野外炊飯等

2 利用拡大事業

(1) サクラ・カタクリ週間

ア 目的

所内の桜やカタクリの群生地、自然の家のプログラムを体験し春の自然を満喫するとともに、家族の絆を深める。

イ 期日・対象者及び参加者数

期日 平成22年4月11日（日）～25日（日）
対象者 一般（家族単位の参加を基本として）
参加者 214人

ウ 活動内容

- ・桜やカタクリの観賞、プログラムの体験

(2) さくらウォーク

ア 目的

春の野山や田園地帯を歩きながら草花や樹木を観賞することを通して、自然に親しみ、人とのふれあいを深める。

イ 期日・対象者及び参加者数

期日 平成22年4月18日（日）
対象者 小学生から一般
参加者 中止（降雪のため）

ウ 活動内容

- ・三穂田町千本桜までのウォーク（ロングコース 10km とショートコース 5km の選択）

(3) 夢冒険キャンプ

ア 目的

キャンプ生活を通して、自然との共存を図りながら、様々な困難に打ち勝つことの出来る子どもたちを育成する。

イ 期日・対象者及び参加者数

期日 平成22年8月18日（水）～20日（金）
対象者 小学5年生～中学3年生
参加者 30名

ウ 活動内容

(ア) 第1日目 8月18日（水）

- ・結団式・オリエンテーション
- ・スコアOL
- ・テント設営
- ・野外炊飯

(イ) 第2日目 8月19日（木）

- ・安積山登山
- ・キャンプファイヤー

(ウ) 第3日目 8月20日（金）

- ・猪苗代湖湖水浴
- ・イカダレース

(4) 第9回郡山自然の家オープンデー

ア 目的

自然の家の理解を深めるとともに、体験活動を通して

利用拡大を図る。

イ 期日・対象者及び参加者数

期日 平成22年9月26日(日)

対象者 一般(家族単位の参加を基本として)

参加者 426名

ウ 活動内容

・開会式

- ・アトラクション(柴宮幼稚園児による柴宮太鼓の演奏、うねめ太鼓保存会によるうねめ太鼓の演奏)
- ・コーナープログラム(丸太切り、アーチェリー、マウンテンバイク、いかだ乗り体験、インライススケート体験など)・施設開放

(5) ふかまる秋!まるごと体験

ア 目的

自然の家の周辺にある木の実や倒木等の自然素材を生かしたクラフト活動などを通して、自然への理解や家族の交流を図る。

イ 期日・対象者及び参加者数

期日 平成22年11月21日(日)

対象者 一般(だれでも)

参加者 37名

(6) 手作りクリスマス

ア 目的

自然の家の周辺にあるツルを編んでキャンドルホルダーを作るクラフト活動を通して、自然とのふれあいを深める。

イ 期日・対象者及び参加者数

期日 平成22年12月11日(土)

対象者 一般(だれでも)

参加者 28名

(7) わくわく!ファミリー冬のつどい

ア 目的

スキー教室を通して、白銀の世界を体感するとともに、家族の絆を深める。

イ 期日・対象者及び参加者数

期日 平成23年2月5日(土)~6日(日)

対象者 小学生を含む家族

参加者 35名

ウ 活動内容

猪苗代スキー場でのスキービーク、クラフトつくり

(8) 冬の文化祭「クラフトまつり」

ア 目的

自然の家のクラフト(革細工・森の標本箱)や食堂での食事を体験することを通して利用拡大を図る。

イ 期日・対象者及び参加者数

期日 平成23年2月20日(日)

対象者 一般(だれでも)

参加者 17名

3 協力事業

(1) 福島の冬! ウィンターフェスティバル(会津自然の家)

ア 期日・参加者数

期日 平成23年1月29日(土)~30日(日)

参加者 29名(当所からの参加者数)

第5節 その他

平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」(M9.0)及びその後の東京電力福島第一原子力発電所の原子力災害による避難者受け入れを3月15日に開始した。平成22年度中の避難者の受け入れの状況は次の通りである。

(1) 入退所者数の推移

	入所者数	退所者数	宿泊者数
3月15日	266		266
3月16日	7	26	247
3月17日	2	26	223
3月18日	1	34	190
3月19日	6	16	180
3月20日		16	164
3月21日	7	15	156
3月22日		15	141
3月23日		2	139
3月24日	5	10	134
3月25日		7	127
3月26日	23	1	149
3月27日	6	21	134
3月28日	1	12	123
3月29日		3	120
3月30日	1	8	113
3月31日		2	111
計	325	214	

(2) 出身市町村別避難者数

3月31日までの入所者325名の出身市町村別数は次の通りである。

いわき市	145	南相馬市	13
川内村	49	双葉町	9
富岡町	47	小野町	7
田村市	25	楢葉町	2
大熊町	13	広野町	2
浪江町	13		

計 11市町村 325名

福島県会津自然の家

第1節 概要

福島県会津自然の家は、恵まれた自然環境の中で、自然に親しむ活動や集団宿泊生活、野外活動を体験することにより心豊かで心身ともに健全な県民を育成することを目的とした社会教育施設である。

昭和56年4月に開所し、今年度末で30年になり、開所以来多くの方々にご利用いただいているところである。

今年度は、次の3つの重点目標を掲げ、その達成に努めるとともに、誰もが利用しやすい魅力的な施設をめざして運営の改善を図り、時代や利用者のニーズに対応した社会教育施設の役割に積極的に取り組んできた。

〈重 点 目 標〉

- (1) 利用団体を支援する体制を整備する。
→ 利用による付加価値を高める。
- (2) 利用者層の拡大に努める。
→ 生涯学習施設としての役割を担う。
- (3) 環境の整備に努める。
→ 事故ゼロを目指す。

1 職員組織

職 所	次 主	主 社	指 導	体 験	嘱 託	労 務	計
名 長	長 查	会 教	導 主	活 動	運 転	手 員	
人員	1	1	1	1	2	1	3
							13

2 平成22年度重点目標と成果

(1) 利用団体を支援する体制を整備する。

→ 利用による付加価値を高める。

〈取組みの重点〉

- ア 利用団体、特に幼稚園、学校での目的と活動の整合性を図る。
- ・ 事前打ち合わせ等で利用団体の活動のねらいをしっかりと聞き取り、活動プログラムのねらいとの整合性を図る。
- イ 信頼関係づくりゲーム、森林環境学習等の出前講座の充実を図る。
- ・ 信頼関係づくりゲーム、森林環境学習のプログラムを敷衍すると共に、出前講座を積極的に推進する。
- ウ 専門的知識・技能、経験等を有する講師を活用できるよう、コーディネートする。

〈取組みの結果〉

ア 幼稚園、学校での利用目的の差はみられるが各プログラム終了後の振り返りの時間を設定する団体は少しずつ増えており、今後も事前研修会、受入時打合せなどの機会を活用し声をかけていきたい。利用者アンケートの結果によれば、利用者の満足度は高く、支援の体制は整ってきたと判断される。

イ 自然の家に来られない場合には、学校周辺の環境を活用して森林環境学習を実施できる旨を伝え、信頼関係作りゲームのよさを体感してもらうために、事前研修会や企画事業のオリエンテーションなどを実施して周知してきた。その結果、信頼関係作りゲームを雨の時の活動として設定する団体が増えてきた。森林環境学習については実施する団体が少ないため、今後のさらなる働きかけが必要である。

ウ 民話の語り部、自然観察、スキー講師、星空案内人など、各種プログラム、企画事業においての活用は定着してきている。また、企画事業のサポート、コース・施設環境の整備において、一般、高校生のボランティア活動も充実しており、支援体制の充実が図られてきている。

(2) 利用者層の拡大に努める。

→ 生涯学習施設としての役割を担う。

〈取り組みの重点〉

ア ホームページの充実に努め、随時更新し、最新の情報発信を行うとともに、主催事業等においては、広報誌、新聞社等への記事提供を行うなど、積極的な広報に努める。

イ 「会津自然の家だより」を定期的に発行し関係機関に配布するとともに、地域の広報誌、マスコミ等を積極的に活用する。

ウ 学校関係以外の機関や地域の各種サークル等への広報活動も積極的に推進する。

〈取組みの結果〉

ア ホームページの随時更新、県内の教育委員会、公民館はもとより関東圏の教育委員会へのPR活動などを行い、積極的に広報活動に努め、特に冬場のスキー学習での利用を増やすことができた。

イ 自然の家だよりの季刊発行、地域情報紙（2紙）への掲載依頼、さらには、アスレチック、そりの無料開放デーを設けることにより利用拡大を図ることができた。

ウ 学校関係以外の機関、サークルへの周知活動は十分ではなかった。合唱団などのサークル、老人会、大学等への利用拡大を図っていきたい。

(3) 環境の整備に努める。

→ 事故ゼロを目指す。

＜取組みの重点＞

- ア 常に整理整頓、定物定位置を心がけ、美しい環境作りに努める。
- イ 事故発生予防に努める。
- 定期的な点検の充実に努める。
 - 防火防災等安全に係る計画を見直し、改善を図る。

＜取組みの結果＞

- ア 正規の職員数は減ったが、臨時労務員の確保により、コースや周辺環境の整備には、これまで以上に取り組むことができた。
- イ 毎月の定期点検はもとより、各種プログラムの実施の中でも常に気を配り、補修箇所、危険箇所については即座に対応し、事故発生の予防に努めた。
- ウ 防火防災等安全に関わる「危機対応マニュアル」や利用団体に配付する「もしものときのために」の内容の検討を行い、より広範囲にわたる困難な状況に対応ができるよう改善を図った。

第2節 施設・設備の概要

1 所在地

- 河沼郡会津坂下町大字八日沢字西東山 4495-1

2 宿泊定員

- 本館 25室 290名(うち1室障がい者用)
- ロッジ 10棟 150名
- テント 20張 120名

3 敷地面積

- 251,432 m²

4 建物面積

- 延床面積 5,462.7365 m²
- ・ 管理研修棟(鉄筋造2階建)
- ・ 宿泊棟(鉄筋造2階建)
- ・ プレイホール(鉄筋造)
- ・ アセンブリホール(鉄筋造)
- ・ 機械棟(鉄筋造3階建)
- ・ ロッジ(木造平屋建)
- ・ 野外活動管理センター(鉄筋造)
- ・ 炊飯場(鉄筋造)
- ・ 薪置場(コンクリートブロック造)
- ・ 車庫(鉄筋造)・野外便所(鉄筋造)

5 運動広場面積

- 8,500 m²

6 設備備品等

- ・ フィールドアスレチック・アルペンスキー
- ・ 歩くスキー(クロカンスキー)・そり・かんじき
- ・ 野外活動用具・野外炊飯用具・運動用具
- ・ 双眼鏡・天体望遠鏡・テレビ・VTR
- ・ 16mm映写機・液晶プロジェクター・ピアノ
- ・ オルガン・CDカセットプレーヤー
- ・ 伝承遊びセット・クラフト用具
- ・ 各種OL用具・営火場(4箇所)
- ・ 諸活動コース・その他

第3節 利用状況

- 当施設を利用できる対象者は、次のとおりである。
 - (1) 学校団体(小学校、中学校、特別支援学校、高校、大学、高等専門学校、幼稚園等の構成員及びその指導者)
 - (2) 社会教育団体(公民館、子ども会、保育所、スポーツ少年団体、家族、老人会、勤労青少年団体等)の構成員及びその指導者
 - (3) その他、教育長が適当と認めた者
- 本年度の利用団体数は519団体、実利用者数は25,082人、延利用者数は41,063人である。
- 月別利用状況、利用団体別・宿泊日数別利用状況、研修活動の分類と実施団体数についての詳細は、次の表のとおりである。

1 月別利用状況

(平成23年3月31日現在)

月	種別	学校教育団体					社会教育団体				家族	企画事業	合計		
		区分	幼稚園等	小学校	中学校	高校	特別支援学校	大学等	少年	青年	一般				
4	団体数		1	1	2	5	0	1	2	1	3	0	0	3	19
	利用人員	24	119	347	356	0	35	108	43	27	0	0	563	1,622	
	延人數	24	238	693	598	0	70	212	43	43	0	0	563	2,484	
5	団体数		6	13	3	0	0	0	12	1	7	1	0	1	44
	利用人員	311	754	367	0	0	0	339	20	102	26	0	56	1,975	
	延人數	311	1,518	367	0	0	0	492	60	115	26	0	112	3,001	
6	団体数		7	24	2	0	0	0	20	0	8	0	0	3	64
	利用人員	265	1,092	348	0	0	0	975	0	65	0	0	133	2,878	
	延人數	308	2,373	654	0	0	0	1,093	0	100	0	0	133	4,661	
7	団体数		9	12	0	0	2	0	35	1	6	0	4	0	69
	利用人員	478	916	0	0	28	0	1,958	12	105	0	22	0	3,519	
	延人數	932	2,180	0	0	56	0	3,041	22	114	0	36	0	6,381	
8	団体数		3	5	0	1	0	0	29	0	7	0	1	1	47
	利用人員	150	624	0	54	0	0	1,031	0	291	0	5	15	2,170	
	延人數	283	1,760	0	162	0	0	2,331	0	608	0	15	45	5,204	
9	団体数		6	20	3	1	0	0	13	2	8	0	1	2	56
	利用人員	176	1,193	97	57	0	0	555	39	82	0	4	429	2,632	
	延人數	176	2,419	106	114	0	0	649	120	142	0	8	429	4,163	
10	団体数		9	20	1	0	1	0	14	0	14	0	0	1	60
	利用人員	485	935	136	0	69	0	670	0	209	0	0	1,221	3,725	
	延人數	485	1,391	136	0	276	0	814	0	254	0	0	1,221	4,577	
11	団体数		1	10	1	0	0	0	8	0	5	0	1	4	30
	利用人員	33	408	43	0	0	0	208	0	73	0	2	109	876	
	延人數	33	408	43	0	0	0	326	0	75	0	2	109	996	
12	団体数		0	0	1	0	0	0	10	0	8	0	2	4	25
	利用人員	0	0	35	0	0	0	247	0	56	0	4	162	504	
	延人數	0	0	70	0	0	0	357	0	56	0	8	255	746	
1	団体数		19	9	2	0	1	0	10	0	4	0	0	2	47
	利用人員	865	365	345	0	66	0	447	0	34	0	0	164	2,286	
	延人數	1,045	463	1,035	0	66	0	617	0	42	0	0	315	3,583	
2	団体数		17	6	2	0	0	0	16	0	7	0	1	4	53
	利用人員	629	403	267	0	0	0	578	0	94	0	3	384	2,358	
	延人數	629	1,208	801	0	0	0	874	0	103	0	3	384	4,002	
3	団体数		2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	5	
	利用人員	55	0	0	204	0	0	117	0	11	0	0	150	537	
	延人數	55	0	0	816	0	0	200	0	44	0	0	150	1,265	
合	団体数		80	120	17	8	4	1	170	5	77	1	10	26	519
	利用人員	3,471	6,809	1,985	671	163	35	7,233	114	1,149	26	40	3,386	25,082	
	延人數	4,281	13,958	3,905	1,690	398	70	11,006	245	1,696	26	72	3,716	41,063	

前年対比

期間	区分	21年度	22年度	増減
4月 ～	団体数	510	519	9
	実利用者	26,498	25,082	-1,416
3月	延利用者	44,107	41,063	-3,044

2 利用団体別・宿泊日数利用状況

(1) 利用者数 () はキャンプ内数

項目	団体数	実利用者数	延宿泊者数	延利用者数
利用者数	519	25,082	15,981	41,063
(キャンプ)	(4)	(111)	(266)	(266)
(ロッジ)	(24)	(547)	(1,218)	(1,218)

(2) 利用者受け入れ日数

項目	利用可能日	利用日数	宿泊可能日	宿泊日数
利用日数	278	249	228	1581
(キャンプ)	(175)	(8)	(146)	(5)
(ロッジ)	(175)	(61)	(146)	(43)

(3) 利用者区分

泊	種別 区分	学校教育団体						社会教育団体				家族	企画事業	合計
		幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	大学等	少年	青年	一般	高齢者			
1	団体数	65	38	8	2	1	0	84	1	56	1	3	21	280
	実利用者数	2,782	1,501	830	114	66	0	4,353	45	929	26	13	3,071	13,730
	延宿泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	2,782	1,501	830	114	66	0	4,353	45	929	26	13	3,071	13,730
1	団体数	10	61	4	4	2	1	65	2	13	0	6	4	172
	実利用者数	568	3,699	390	299	28	35	2,165	28	121	0	22	300	7,655
	延宿泊者数	568	3,699	390	299	28	35	2,165	28	121	0	22	300	7,655
	延利用者数	1,136	7,398	780	598	56	70	4,330	56	242	0	44	600	15,310
2	団体数	5	19	5	1	0	0	17	1	1	0	1	1	51
	実利用者数	121	1,377	765	54	0	0	615	20	8	0	5	15	2,980
	延宿泊者数	242	2,754	1,530	108	0	0	1,230	40	16	0	10	30	5,960
	延利用者数	363	4,131	2,295	162	0	0	1,845	60	24	0	15	45	8,940
3	団体数	0	2	0	1	1	0	2	1	1	0	0	0	8
	実利用者数	0	232	0	204	69	0	51	21	17	0	0	0	594
	延宿泊者数	0	696	0	612	207	0	153	63	51	0	0	0	1,782
	延利用者数	0	928	0	816	276	0	204	84	68	0	0	0	2,376
4	団体数	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0	0	0	6
	実利用者数	0	0	0	0	0	0	20	0	11	0	0	0	31
	延宿泊者数	0	0	0	0	0	0	80	0	44	0	0	0	124
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	100	0	55	0	0	0	155
5	団体数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
	実利用者数	0	0	0	0	0	0	29	0	63	0	0	0	92
	延宿泊者数	0	0	0	0	0	0	145	0	315	0	0	0	460
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	174	0	378	0	0	0	552
合 計	団体数	80	120	17	8	4	1	170	5	77	1	10	26	519
	実利用者数	3,471	6,809	1,985	671	163	35	7,233	114	1,149	26	40	3,386	25,082
	延宿泊者数	810	7,149	1,920	1,019	235	35	3,773	131	547	0	32	330	15,981
	延利用者数	4,281	13,958	3,905	1,690	398	70	11,006	245	1,696	26	72	3,716	41,063

3 研修活動の分類と実施団体数

(平成23年3月31日現在)

(1) 野外活動

No.	プログラム名	学校	社教	計
1	アルペンスキー	28	14	42
2	フィールド・アスレチック	35	28	63
3	野外炊飯	23	18	40
4	キャンプファイバー	20	15	35
5	どきどきナイトハイク	22	5	27
6	そり・チューブ滑り	32	12	44
7	星空ウォッキング	24	5	29
8	宇宙大作戦	31	5	36
9	散策	22	11	33
10	UFOゴルフ	6	9	15
11	会津の歴史・町並みハイク	8	1	9
12	地層と化石の観察	17	0	17
13	アニマルランドの冒険	12	0	12
14	火起こし体験	14	8	22
15	樹木オリエンテーリング	18	1	19
16	カヌー	12	3	15
17	バームクーヘン	2	12	14
18	森林環境学習	7	0	7
19	昆虫ウォッキング	9	0	9
20	かにの沢で遊ぼう	5	5	10
21	雪遊び	1	1	2
22	自然観察	8	1	9
23	ネイチャー・ゲーム	2	0	2
24	登山	4	2	6
25	ビンゴオリエンテーリング	1	0	1
26	森遊び	5	6	11
27	バーベキュー	1	3	4
28	草滑り	1	0	1
29	雪像つくり	2	2	4
30	どうぶつ村の大運動会	3	0	3
31	史蹟めぐり	2	0	2
32	アニマルトラッキング	3	0	3
33	川の学習	1	3	4
34	ハイキング	4	6	10
35	雪上ハイキング	0	3	3
36	ダッヂオーブン(ピザ)	3	6	9
37	ウォークラリー	0	1	1
38	すごろくオリエンテーリング	1	2	3

(2) 室内活動

No.	プログラム名	学校	社教	計
1	クラフト	27	23	50
2	室内ゲーム	26	18	44
3	信頼関係づくりゲーム	11	7	18
4	会津の民話	13	5	18
5	キャンドルファイバー	14	2	16
6	パソコン	0	9	9
7	ケーキつくり	0	5	5
8	読み聞かせ	4	0	4
9	伝統工芸	4	0	4
10	テーブルマナー教室	0	2	2
11	そば打ち体験	0	2	2
12	紙しばい	1	0	1

* クラフトには、森の生きものたち、ストーンペインティングも含む

第4節 企画事業

1 指導者の研修

(1) 学校団体指導者事前研修会

ア 目的

当所の設立の趣旨・教育目標・方針・利用のねらい及び運営方法を理解し、児童・生徒が安全に生活し充実した活動が行えるよう、屋内外の施設環境を確認するとともに、各種プログラムのねらいや配慮事項を理解し、効果的な活動計画が作成できるようにする。また、集団宿泊生活が円滑かつ効果的に進められるよう、同時期に宿泊する他の学校団体との活動及び役割分担等について調整を図る。

イ 期日・対象・参加者数

第1回：平成22年4月20日（火）

5～6月に利用する学校の教職員27名参加

第2回：平成22年4月27日（火）

6～7月に利用する学校の教職員37名参加

第3回：平成22年6月22日（火）

9～10月に利用する学校の教職員31名参加

第4回：平成22年11月25日（木）

1～3月に利用する学校の教職員12名参加

ウ 研修内容

- (ア) 利用の仕方及び利用日までの手続き、準備物の確認
- (イ) 活動計画の作成及び同時期利用団体との調整
- (ウ) プログラム及び活動内容・指導方法の理解
- (エ) 施設及び避難経路の確認

(2) 社会教育団体指導者研修会

ア 目的

社会教育団体が行う集団宿泊生活の充実や施設の安全な使用のために、施設の紹介や所内生活における基本的な生活ルールの周知を行うとともに、活動プログラムの作成・調整を行う。

イ 期日・対象・参加者数

第1回：平成22年6月13日（日）

7月21日～8月日に利用する団体の引率者49名参加

第2回：平成22年6月20日（日）

8月2日～8月22日に利用する団体の引率者58名参加

ウ 研修内容

- (ア) 当所施設等の見学と安全確認
(避難経路の確認を含む)
- (イ) 当所の利用方法及び生活の仕方の研修
- (ウ) プログラム編成・同時期利用団体との調整

2 利用促進事業

(1) 森で遊ぼう！ファミリーキャンプ

ア 目的

親子によるキャンプ生活を通して、親子のふれあいや他

家族との交流を図り相互の親睦を深める。

自然体験活動を実施することにより、子どもたちの自主性と創造性を育成する。

イ 期日・対象・参加者数

(ア) 平成22年5月29日（土）～30日（日） 1泊2日

(イ) 幼稚園(年中以上)小・中学生とその家族等56名参加

ウ 活動内容

- (ア) 親子で仲良く野外泊
- (イ) 参加者選択による自然体験活動
 - A 森に秘密基地を作ろう！
 - B 木と仲良しになろう！
 - C 森を探検しよう！
 - (ウ) ナイトハイクに挑戦
 - (エ) 朝の自然散策
 - (オ) 火おこし体験・野外クッキングに挑戦
 - A ダッヂオーブンでのピザとポトフづくり

(2) 大自然わくわくキャンプ

ア 目的

会津自然の家及び近隣の豊かな自然の中での体験活動を通して、自然に親しむ心を養う。

活動を最後までやり遂げることを通して、達成感・満足感を味わわせる。

宿泊体験活動を通して参加者同士の交流を図る。

イ 期日・対象・参加者数

(ア) 平成22年8月2日（月）～4日（水） 2泊3日

(イ) 小学校5年生～中学校1年生 15名参加

泳力20メートル以上で水の冷たさに耐えられる健康な方

ウ 活動内容

- (ア) テント設営・カヌー体験
- (イ) きもだめし・花火大会
- (ウ) 裏磐梯中津川渓谷沢歩き
- (エ) 星空・昆虫ウォッチング
- (オ) 火起し体験・野外クッキング

(3) 第7回会津自然の家あつたかふれあいまつり

ア 目的

自然の家オープンデーを実施することにより、県民に活動プログラムを体験できる場を提供し、自然体験機能及び生涯学習機能を兼ね備えた本所への理解を深める。

関係機関・団体との連携により利用団体の目的に即した体験活動の充実を図る。

イ 期日・対象・参加者数

(ア) 平成22年10月16日（土）

(イ) 地域住民を中心とした一般1,221名参加

ウ 活動内容

- (ア) プログラム体験コーナーI(無料)・II(有料)
- (イ) 協力団体等体験コーナー
- (ウ) 協力団体による模擬店販売
- (エ) 昼食販売他

(オ) 施設開放

(4) 打って食べて大満足 新そばにチャレンジ

ア 目的

そば打ち体験を通して、郷土の食生活、食の大切さを理解し、参加者同士の交流を深める。

イ 期日・対象・参加者数

(ア) 平成22年11月13日（土）・14日（日） 2日間

(イ) 小・中学生の親子57名参加

ウ 活動内容

(ア) そば打ち実演

(イ) そば茹で実演

(ウ) そば口上実演

(エ) そば打ち体験

(オ) 試食

(5) 手作り森のクリスマス

ア 目的

クリスマスケーキ・クラフト作りを通して、手作りのよさや自然素材のよさを味わえるとともに、家族やグループ間の交流を図る。

イ 期日・対象・参加者数

(ア) 平成22年12月11日（土）・12日（日）

(イ) 小・中学生の親子や知人69名参加

ウ 活動内容

(ア) ケーキ職人の技披露

生地つくり

ロールの仕方

デコレート

(イ) ケーキ作り体験

(ウ) クリスマスクラフトの飾り作成

(エ) 試食会

(6) 福島の冬！ウィンターフェスティバル

ア 目的

福島県会津自然の家での集団宿泊活動、雪国ならではの雪と親しむ活動、民話等の伝統文化的な活動を通して、福島の冬の風情や伝統文化のすばらしさを発見させるとともに、参加者相互の交流を深める。

イ 期日・対象・参加者数

(ア) 平成23年1月29日（土）～30日（日） 1泊2日

(イ) 小・中学生の親子122名参加

ウ 活動内容

(ア) 雪像つくり

(イ) そり滑り、チューブ滑り、スノーシュー

(ウ) アルペンスキー、クロスカントリースキー

(エ) 会津の民話

3 その他の企画事業

(1) 第7回 高寺山山開き

ア 目的

いにしえのロマンと豊かな自然を有する高寺山の山開きを行い、登山者の安全を願うとともに、町の教育・観光資源を広く内外に広報し地域振興に資する。

参加者同士が共に汗を流し登山することにより、健康づくりと温かい心の交流の機会を提供する。

イ 期日・対象・参加者数

(ア) 平成22年4月11日（日）

(イ) 一般361名参加

ウ 活動内容

(ア) ばんげの歴史

(イ) 山開きの式

安全祈願(神事)

(ウ) 高寺山登山

(2) 冬休み学習宿!!

ア 目的

自然の家での活動を通して、他の参加者との交流を深め、自分から進んで生活や学習する態度を身につける。

イ 期日・対象・参加者数

(ア) 平成22年12月25日（土）～26日（日） 1泊2日

平成22年12月26日（日）～27日（月） 1泊2日

(イ) 小学3年～6年生90名参加

ウ 活動内容

(ア) 学習（国語、算数、理科、社会）

(イ) 毛筆書写

(ウ) 交流事業(ドッジビー)

(3) お月見コンサート2010

ア 目的

中秋の名月の時期に天体望遠鏡で月面を鑑賞し、年中行事としての「お月見」の体験をする。

「お月見」にふさわしい音楽や民話の語りを聴き、世代を越え共に秋の夜長を心ゆくまで楽しみ、交流を深める。

イ 期日・対象・参加者数

(ア) 平成22年9月18日（土） 日帰り

(イ) 一般参加者・スタッフ350名参加

ウ 活動内容

(ア) 月の調べ～オープニング ピアノ演奏

(イ) 月面鑑賞～天体望遠鏡による月面観察

(ウ) 声楽とピアノによる演奏

(エ) 合唱による演奏

(4) もみじ自然観察会

ア 目的

会津自然の家周辺のコース内で紅葉を主としてた自然

観察をしながら歩くことにより、自然のすばらしさを味わうとともに参加者相互の交流を深める。

イ 期日・対象・参加者数

(ア) 平成22年11月7日 (日) 1日

(イ) 健康な方39名参加

ウ 活動内容

(ア) 会津自然の家周辺活動コース

「杉の沢コース」「北の尾根コース」